

平成26年度における剰余金の概要

H26年度剰余金の概要

1. 損益計算書等における利益（剰余金）

◎損益計算書の概要

ア_経常費用	2,440百万円
イ_経常収益	2,612百万円
ウ_当期純利益（イ-ア）	172百万円
エ_目的積立金取崩	23百万円
当期総利益（ウ+エ）	195百万円

2. 平成26年度決算における剰余金の主な要因

【収入の増等】

- A. 簡易受託研究や設備開放収入などの事業収入の増加及び効果的な予算執行による事業支出の節減による剰余金（事業収入の増から事業支出分を差引いた収益） 約39百万
- B. 職員の努力による人件費の剰余金 約79百万
職員数が定数に足りない状況において、職員の努力により平成26年度の数値目標を全て達成したことによるもの

118百万

【その他】

- C. 会計処理上の利益 約77百万
事業収入を財源とした固定資産の取得に伴い発生した現金の裏づけのない利益など

H26年度 利益処分

当期総利益195百万

- 知事の承認を受け目的積立金とするもの 118百万円
(地方独立行政法人法第40条第3項)
- 積立金とするもの 77百万円
(地方独立行政法人法第40条第1項)